

重点プロジェクトの検討に当たっては、市民の視点を第一に、市民や社会のニーズを基にプロジェクトの検討を行い、その具体化においては、対象者や目的に応じて、必要なデジタル技術を選択し、プロジェクトを進めていきます。

(以下では、対象者を ■ で網掛けし、目的については下線を引いています。)

重点プロジェクト1 新たな価値創出・新たなサービス提供プロジェクト

市役所の行政サービスにおいては、各種情報のデジタルデータ化、情報の共有や有効活用によるサービスの向上を図るため、現在、住民異動届のタブレット手続化の導入を始めとしたデジタル行政の取組を進めています。また、民間事業者等においては、企業のDXの推進に向けて、各種情報のデジタルデータ化等を進めています。

こうした中、地域課題の解決や市民の豊かな暮らしを実現するため、分野や組織等の壁を越えた連携を可能とする相互運用性・拡張性、セキュリティが確保されたデータ連携基盤(都市OS)の構築を進め、国、自治体、民間事業者などがそれぞれに管理・保有するデータの連携を促進します。

そして、こうしたプロジェクトの展開を通じて蓄積されたあらゆる分野のビッグデータ等を活用し、新たな価値の創出や、市民に対し、新たなサービスの提供を行い、地域課題の解決や新たな産業の創出を図り、本市全体のDXを推進します。

【KPI(重要業績評価指標)】

指標名	実績値 令和2(2020) 年度	中間目標値 令和6(2024) 年度	最終目標値 令和9(2027) 年度
日常生活において必要なサービスや移動手段に不便していないと思う市民の割合	59.8%	64.6%	67.0%
住まいの地域の住みやすさ	88.6%	90.0%	—
未来技術の活用件数	4件	向上	向上

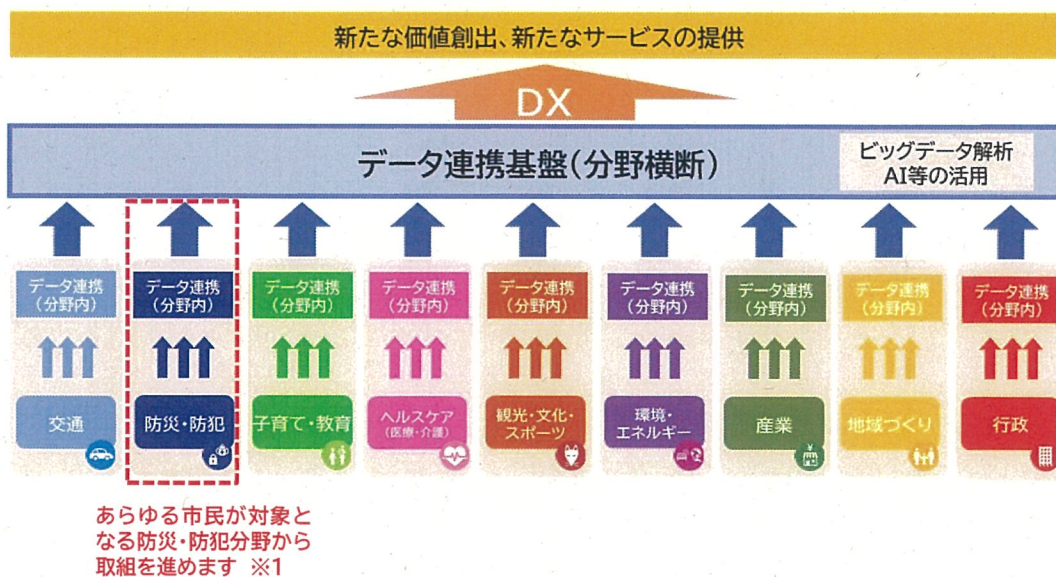
KPIの達成に向けて、重点プロジェクトにおいて具体化が進んだ取組につきましては、第二次山口市総合計画実行計画における政策や施策に基づく事業として位置づけ、活動指標や成果指標を設定し、事業を推進していきます。

【取組内容】

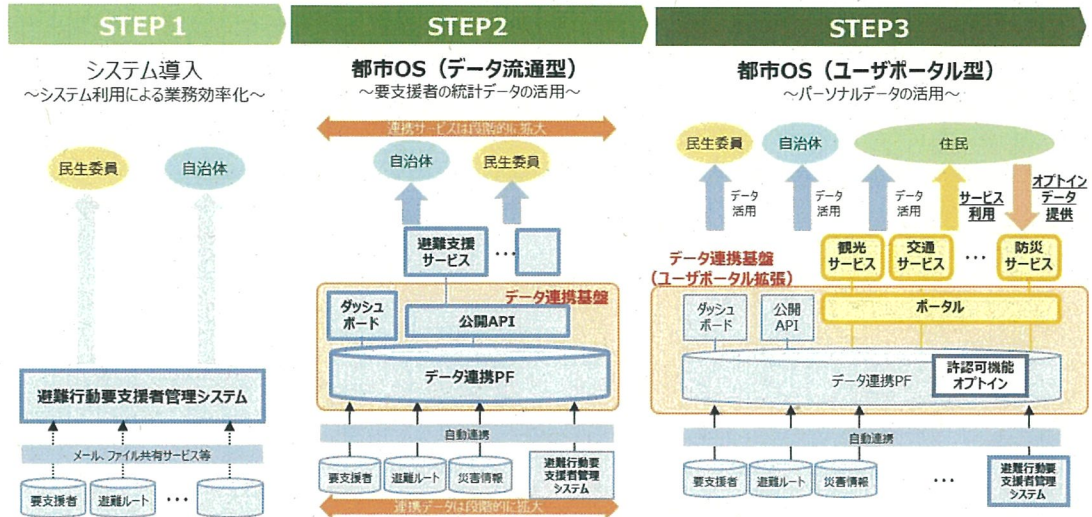
(1) データ連携基盤(都市OS)の構築に向けた取組の推進

- ・ 交通や子育て・教育、医療・介護、防災など、生活全般にわたる複数分野での先端的サービスの社会実装を見据えた、データ連携基盤(都市 OS)の研究・実証の推進。
- ・ 山口県が整備を進めている「山口県データプラットフォーム」や「Y-Cloud」との連携促進。
- ・ 市民の利便性等の更なる向上に向けた、あらゆる分野におけるデジタル化によって蓄積されたビッグデータの解析による、新たな価値の創出や新たなサービスの提供。
- ・ ビッグデータの活用に向けた、個人情報の厳格な管理や、強固なセキュリティ対策の実施。
- ・ 県との連携や、山口県央連携都市圏域を始めとした市町との広域連携において、分野横断的なデータ連携の研究。

「スマート“ライフ”シティ山口」の実現



※1 防災分野におけるデータ連携基盤構築に向けた今後の取組の方向性



STEP1

防災・防犯分野において、避難行動要支援者管理システム等の導入により、これまで紙で管理していたデータのデジタルデータ化を行い、市民の利便性を高めつつ、業務の効率化を図る。

STEP2

防災・防犯分野において、データ連携基盤を通じて、デジタルデータ化した情報を活用して、防災情報や避難情報の見える化(ダッシュボード)や、要支援者の支援に向けた地域や事業者等との情報共有を図るなど、データ活用を通じた誰一人取り残さない防災体制の構築を図る。

STEP3

本人の同意のもと、データ連携基盤を通じて、こうした防災・防犯分野において蓄積したデータと、福祉や交通分野等の他分野のデータを連携させることで、市民の利便性等の更なる向上と、新たなサービス等の創出を図る。